

送辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、陽の光やそよ吹く風の暖かさも春めいてきた今日の良き日に、晴れてご卒業を迎えられた卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございませす。また、これまで長い間温かく見守ってこられた保護者の皆様、校長先生を始め諸先生方もお慶びの事と存じます。

今、皆様はこの三年間の高校生活をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。希望を胸にこの蟻ヶ崎高校の門をくぐった日から、充実した日々の中で作り上げられた様々な思い出が走馬灯のように頭に浮かんでいる事と思います。私たちが在校生も先輩方と過ごした日々が鮮明に思い出されます。

今年は今新型コロナウイルスの影響により、多くの行事や部活動に制限がかけられ悔しい思いをされた事と思います。そんな状況下でも工夫を凝らし行事などを成功させてこられた先輩方には感謝と尊敬の念でいっぱいです。

行事が少なくなってしまう中でもクラスマッチでの

団結力の強さ、全力で楽しもうとする姿などは素晴らしい、行事に対する意欲、真剣さなどは尊敬に値するものでした。

なんと言いましても、本校最大の行事ぎんが祭では、多くの制限がある中で総務をはじめとしたスタッフの皆さんが夜遅くまで作業し一丸となつて、ぎんが祭を成功させようとする姿に心を打たれました。素晴らしい発想力や、実行力で全校生徒を楽しませ、完璧に仕事をやり遂げた先輩方の姿はとても眩しい物でした。

部活動においても、試合などで懸命にプレーする姿はとてもしっかりとよかったです。今年度は最後の試合や発表の場がなくなるなど大変悔しい思いをされた事と思います。しかし、そんな中でも目標を見つけ努力し続ける先輩方に強い憧れをいただきました。また、私たち後輩にも時に厳しく、時に優しくご指導下さいました。

常に蟻ヶ崎高校を背負い、私たち後輩の憧れであり続ける先輩方がこの学校を築き上げていくと思うと

寂しさを感じます。私たちが在校生は、先輩方と出逢えたこと、過ごした日々を誇りに思い、築きあげられた本校の伝統を受け継ぎ、より良い学校にしていきます。

さて、本日まで卒業の日を迎えられる先輩方は、別々の道を歩み出されます。これから始まる人生の長い道の中で多くの困難にぶつかったり、挫折を経験することもあると思います。そんな時は蟻ヶ崎高校で学んだ事や、三年間共に過ごした仲間、かけがえのない思い出がきつと大きな力となり未来を切り拓いてくれると思います。

最後になりましたが、ご卒業されます皆様により一層のご活躍とご健康をお祈り申し上げ、送辞の言葉とさせていただきます。

令和三年三月四日

在校生代表 平林大悟